

# 福島県の魅力

## 1 暮らしやすい

### 通勤時間が短い!

1日あたりの平均通勤・通学時間(平日)  
 福島:66分 東京:95分

※10歳以上の「通勤・通学」をしている人の平均  
 出典「令和3年社会生活基本調査結果」  
 (総務省統計局)

### 帰宅時間が早い!

仕事からの平均帰宅時間(平日・有業者)  
 福島 18:18 東京 19:15

※出典「令和3年社会生活基本調査結果」  
 (総務省統計局)

### 家賃が安い!

専用住宅1畳あたりの家賃  
 福島2,378円 東京5,699円

※出典「令和5年住宅・土地統計調査結果」  
 (総務省統計局)

## 2 雄大な自然・景観

### 全国有数の温泉地

福島県の温泉地の数は全国第4位であり  
 全国有数の温泉地です。休日は温泉地めぐり  
 などを楽しむことができます。

※出典「令和5年度温泉利用状況(令和6年3月末現在)」  
 (環境省)

### 猪苗代湖

国内有数の大きさを誇る猪苗代湖では冬  
 には白鳥の飛来も見られます。  
 休日はウォータースポーツや、近くの磐梯  
 山で登山も楽しめます。

### 花の名所

三春滝桜や花見山など、四季折々の美し  
 い花が楽しめる名所が多数あります。



## 3 豊かな食文化

### ラーメン

日本三大ラーメンの一つに数えられる  
 喜多方ラーメンや、白河ラーメンなど、  
 ご当地ラーメンが人気です。



### 農産物と魚介類

桃や梨などの果物、常盤ものと呼ばれる  
 ヒラメをはじめ、米や野菜、福島牛  
 など、豊かな食材が魅力です。



## 4 歴史と文化

### 会津の歴史

会津若松の鶴ヶ城や、江戸時代の街並みが残  
 る大内宿など、歴史的な建造物や文化遺産が  
 数多くあります。

### 祭り

相馬野馬追や会津田島祇園祭など、伝統的な祭  
 りが今も受け継がれています。

### 伝統文化体験

赤べこの絵付けや、会津絵ろうそく作りなど福  
 島ならではの伝統文化を体験できます。



先輩インタビューを  
**「動画」**で  
 Check!



「なるー!」

福島県で  
**薬剤師**  
 という選択。

病院



企画・制作 / 福島県保健福祉部業務課  
 取材協力 / 福島県病院薬剤師会

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16 福島県庁西庁舎 6階  
 TEL.024-521-7232  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045f/yakumukatoppu.html>

令和8年3月作成

福島県薬剤師の就職・支援情報ポータル



# 薬学生として学んだことを福島の病院で活かしてみませんか？

患者さんや家族から**感謝**されることに**やりがい**を感じる

様々な医薬品を取り扱うことができ、**最新の医療**に関わることができる

学会発表や論文文化により新規の**エビデンス構築**に貢献できる

チーム医療の一員として患者さんの**治療に直接**関わることができる

検査値などから**最良の医療**を提供できる

医師や看護師など様々なスタッフと関わり、**コミュニケーション**能力を高めることができる

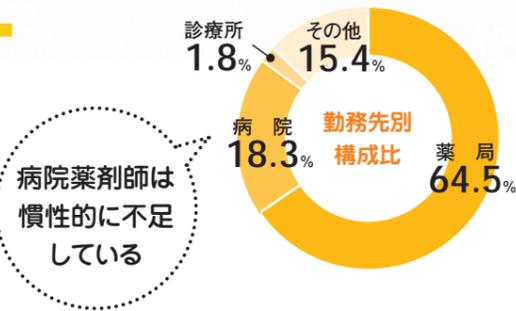
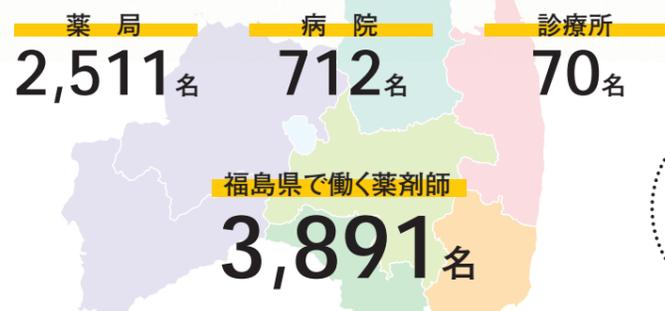
カンファレンスなど**学び**の機会が多くあり、**知識を習得**することができる

臨床現場で働くことで**総合的な医療知識を深める**ことができる

## 数字で知る福島の薬剤師DATA

※出典「政府統計の総合窓口（令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計）」

**01 県内病院薬剤師数** 福島県内で働く薬剤師のうち、病院薬剤師として働く薬剤師は、2割程度となっています。

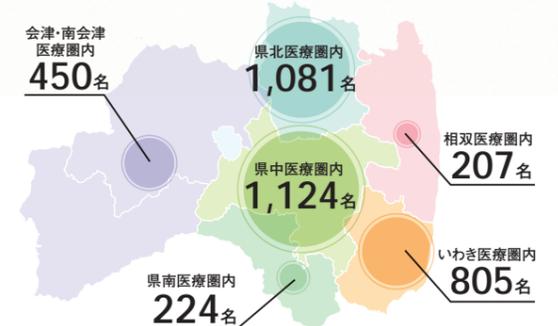


**02 人口10万対県内薬剤師数**

福島県内の薬局・医療施設に従事する人口10万人あたりの薬剤師数は増加していますが、全国平均には達していません。



**03 薬剤師の地域偏在**



# 病院薬剤師の仕事について

## 病院薬剤師の仕事は多岐に渡ります

### 医師との協働



薬の専門家として、薬がより安全で効果的に使用されるよう、患者に適した薬や投与量・投与方法などを医師と話し合います。

### チーム医療の推進



医療に携わるスタッフがそれぞれの専門知識を活かして連携し、より良い医療を提供するチーム医療において、薬剤師はコンプライアンスや副作用のモニタリングをはじめ様々な場面で活躍しています。

### 注射剤の調製



注射剤は体内に直接投与するため、無菌環境下による正確な作業が求められます。また、配合変化や投与量の確認などを行うことで、安全性を確保しています。

### 医薬品情報



薬が安全に使用されるように、常に最新の医薬品情報を収集、整理し、医師・看護師などの医療スタッフに提供しています。

そのほかにもより安心できる薬物療法を提供するために様々な業務を担っています



### 薬学的ケア



### 調剤業務



### 薬の管理



### 服薬指導



### 投薬支援

# Interview

現役薬剤師のみなさんに聞きました!

大原総合病院(福島市)勤務



## 1 県北地域

### 県北地域の特徴について

県庁所在地・福島市を中心に、飯坂・土湯・高湯・岳などの温泉がある人気のエリア。高速道路や新幹線など、東北各県や首都圏にアクセスしやすい環境のほか、安達太良山や花見の名所である花見山など、自然豊かな景観にも恵まれています。

### 仕事内容について

調剤業務、病棟業務、外来患者指導が主な仕事です。病棟では、カンファレンスに参加したり、勉強会を開催したりなど、多職種で連携しながら業務を行っています。そのほか、嚥下回診チームや骨粗鬆症委員会のメンバーとして、チーム医療に参加しています。

### なぜ薬剤師になったのですか?

身近に医療の仕事に携わる人が多く、その姿を見て育ったことから、自然と医療分野に興味を持つようになりました。もともと理数系科目が好きだったこともあり、「薬という化学の力で人の病気を治す」という点に強く惹かれ、薬への関心が一層高まりました。薬の専門家として病気で困っている人を支えたいという思いが次第に大きくなり、薬剤師を目指すようになりました。

### 薬剤師に求められる大切なこと

薬剤師に求められるのは、専門的知識だけではありません。患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢がとても大切です。患者さんは、身体的な苦しみだけでなく、心理的・社会的な苦しみを抱えていることも少なくありません。そのような苦しみは、カルテだけでは十分に把握できない場合もあります。だからこそ、私はできる限り直接お話を伺い、患者さんの声に耳を傾けることを大切にしています。

休日は御朱印集めや旅行を楽しんでいます!

詳しくは動画をCheck!



(2025.12 取材)

## 2 県中地域

### 県中地域の特徴について

県の中央に位置し、商都・郡山市を中心とした活気あふれるエリア。東西・南北に走る高速道路や福島空港など、県内外の交通の要となっています。一方で、周縁部は低山や湖、温泉地、三春滝桜をはじめとした桜の名所など、自然にも恵まれています。

### 仕事内容について

薬が正しく調剤されたか監査し、処方された薬の効果や副作用などについて患者さんに説明します。また、患者さんから話を聞き、薬が飲めているか、効いているか、副作用が出ていないかなどを確認の上、記録を作成し、スタッフと情報を共有します。

### 薬剤師に求められる大切なこと

患者さんを中心としたワンチームで治療を行うため、コミュニケーション能力は不可欠です。また、医師や看護師には伝えにくいけれど、薬剤師には話しやすいという患者さんもいるため、患者さんの話に傾聴することを心がけています。さらに、患者さんの状態によっては、医師へ処方薬の減量や中止、代替薬の提案をする必要があるため、患者さんの話や各種検査値などから患者さんの状態を把握することが大切です。

### 病院薬剤師としてのやりがいについて

自身が提案した投与設計により患者さんが回復し、その後、患者さんから感謝の言葉をいただいた時は、薬剤師をやっているとよかったと感じました。また、患者さんが自宅で生活できるよう他職種と協力し、症状を改善していくことにやりがいを感じており、特に糖尿病患者さんの血糖コントロールに注力しています。血糖コントロールは治療薬以外に発熱などの全身状態、食事の内容や摂取量に関係しているため、看護師や管理栄養士と密に情報を共有しています。

(2025.12 取材)



日東病院(郡山市)勤務

休日は大半は家族と団らん。月一ゴルフ、時々ソフトボール!



詳しくは動画をCheck!

県南地域の特色について

3

首都圏に隣接する好立地で、東北自動車道や新幹線、あぶくま高原道路などが整備されていてアクセスも良好。東北の中でも降雪量が少ない地域で、首都圏への通勤エリアとしても人気があります。白河ラーメンも有名です。

仕事内容について

外来化学療法室に専従し、外来通院で抗がん剤治療する患者さんのスケジュール、投与量チェック、前投薬の処方チェック、支持療法などの院外処方チェック、服薬指導、採血結果の説明、副作用のモニタリングなどを行っています。また、がん化学療法レジメンの作成、管理を行っています。

なぜ薬剤師になったのですか？

強い意思があって薬学部に入ったわけではありませんでしたが、学生時代、がんを患った祖母に薬の不安や体調の変化など相談をされた際、当時の私には専門的知識がなく、何一つ明確に答えることができませんでした。頼ってくれた祖母に対し、何もできなかった無力さが、今でも忘れられません。この経験から、がん治療を行っている病院で、がんについて学びたいと思い、病院薬剤師を目指しました。



白河厚生総合病院(白河市)勤務



休日はこどもと公園へ。笑顔に癒され、明日への活力をチャージしています。



詳しくは動画を Check!

病院薬剤師としてのやりがいについて

自分の提案が治療継続に直結することです。医師に処方提案が採用され患者さんの症状が改善した時や、不安を抱える患者さんの声に耳を傾け、「薬剤師さんに話して良かった」と笑顔を見られた瞬間は、今でもやっつけてよかったなと感じます。もう一つは、チームの要として「頼られる存在」になれることです。そこに至るまでは大変でしたが、大変だからこそ、やりがいは大きいです。

(2026.1 取材)

相双地域の特色について

5

歴史ある相馬野馬追などの伝統文化に加え、豊かな海の幸に恵まれたエリア。夏は比較的涼しく、冬は温暖で晴れが多い。Jヴィレッジのほか、海水浴場が点在し、常磐自動車道や東北中央自動車道、JR常磐線など、県内や近隣県への交通網も充実しています。

南相馬市立総合病院(南相馬市)勤務



仕事内容について

主に、調剤、注射薬払い出し、抗がん剤ミキシング等の中央業務と病棟業務に従事しています。病棟業務では病棟専任薬剤師として、持参薬鑑別、服薬指導や投薬状況確認、退院時服薬指導等により、患者さんの入院から退院までを通してサポートしています。また、院内医療スタッフからの薬に関する相談にも随時対応しています。

なぜ薬剤師になったのですか？

元々医療職に興味があり、中でも薬のスペシャリストとして薬物治療を支える薬剤師に魅力を感じたのがきっかけです。薬剤師の仕事について理解を深めていく中で、いつか自分も薬剤師として地域の医療に貢献したいという思いがより一層強くなりました。家族や恩師からの勧めもあり、薬剤師の道を進むことを決意しました。

薬剤師に求められる大切なこと

「学び続けること」だと思います。新薬の開発やガイドライン改訂など医療が日々進歩し続ける中で、医療従事者である私たちも知識を更新していく必要があります。また、AIの活用など社会のトレンドを掴むことも重要であると感じます。医療とともに歩みを止めることなく日々進化していくことが、これからの薬剤師に求められてくると思います。

(2025.12 取材)



詳しくは動画を Check!

休日は、野球やゴルフなど体を動かしてリフレッシュしています!

4

会津・南会津地域の特色について

鶴ヶ城に代表される歴史の町、会津若松市を中心に、磐梯山や猪苗代湖、尾瀬国立公園など、雄大な自然が広がるエリア。登山やスキーなど、様々なアクティビティを楽しむことができます。また、郷土料理や日本酒、喜多方ラーメンなど、食文化が豊かです。

竹田総合病院(会津若松市)勤務



仕事内容について

がん緩和の担当として、外来がん化学療法の患者さんに対して、診察前後で面談をしています。診察前は、抗がん剤の副作用の確認やがん悪液質の評価、フィジカルアセスメントだけではなく、痛みや精神的な症状も伺います。これらの情報を基に処方代行入力を行い、評価した内容は処方提案と共に医師へ提供しています。診察後は、診察時の内容を伺い、処方の内容をチェックし、検査データの結果や次回来院までの注意事項などをお伝え致します。また、医療用アプリやキビタン健康ネットを活用した情報共有も積極的に行っています。

薬剤師に求められる大切なこと

患者さんが自分の病気を自分事として受け止め、理解し、医療従事者と十分なコミュニケーションを通して信頼関係を構築し、人生を前向きに生きられるようサポートすることが、私たち医療者の役割だと思います。また、薬剤師として、患者さんの身長や体重、性別、年齢、検査データ、生活環境などをふまえて最適な薬物治療を提供することが大切だと考えます。

病院薬剤師としてのやりがいについて

私が薬剤師として成長できたのは、患者さんとのコミュニケーションに多くの時間を充て、コミュニケーションを通じて患者さんの人生の目標や願いを知り、その人らしい生活を送るために自分は何ができるのかを問い続けてきたからだと思います。終末期にQOLが低下する期間をできる限り短くし、最後までその人らしく生きるためには、がん悪液質への対策が大切です。多職種で悪液質対策チームを立ち上げ、チームで成果を出せたことはやりがいにつながりました。先進的な取組に関わることができる点も病院薬剤師の魅力だと感じています。

(2025.12 取材)



休日は、温泉巡りや旅行をすることが何よりの楽しみです!

詳しくは動画を Check!



いわき地域の特色について

6

福島県の東南端に位置するいわき市は県内一の面積を有し、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。大学・高専、総合病院、大型スーパーなど都市機能が充実し、サーフィンや海水浴など、マリンスポーツのメッカとしても人気です。

いわき市医療センター(いわき市)勤務



仕事内容について

産科病棟で入院されている患者さんに服薬指導を行っています。妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師としての知識を活かし、妊婦さんや授乳中の方が安心して薬を使えるよう、分かりやすい情報提供を心がけています。医師や看護師とカンファレンスを行い、薬剤師の視点から治療に関わることもあります。さらに、調剤業務や注射薬の監査業務なども担当しています。

なぜ薬剤師になったのですか？

患者さんに寄り添いながら、チーム医療の一員として働ける病院薬剤師に魅力を感じたからです。カルテを通じて患者さんの情報を収集し、最適な薬物療法を提案できるのは病院ならではの役割です。調剤業務だけでなく、注射薬の監査や抗がん剤の調製、病棟での服薬指導、多職種とのカンファレンスなど、幅広い経験ができるのも魅力です。また、認定薬剤師や専門薬剤師を目指し、より高度な医療に貢献できる環境が整っていることも病院薬剤師を選んだ理由です。

病院薬剤師としてのやりがいについて

以前、薬剤師の全病棟配置を進める際に、これまで薬剤師が常駐していなかった病棟での業務を任せられたことがあります。新しい環境で医師や看護師から信頼を得るまで時間がかかることもありましたが、今では多くの問い合わせを受けるようになり、チーム医療の一員として役立てることに喜びを感じています。さらに、病棟業務を続ける中で妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の資格を取得し、より患者さんに貢献できるようになったことがやりがいです。幅広い分野で活躍できる環境が整っていることも、病院薬剤師ならではの魅力です。

(2025.12 取材)



詳しくは動画を Check!

休日は、こどもと公園で遊んだり買い物をしたりしています

